

選手が知っておきたい ITFプロテニスの変更点

2019年8月

公益財団法人日本テニス協会

• ATP/WTA/ITF ランキングシステムの変更

男女15,男25本戦でATP/WTAランキングポイントを取得
男女15,男女25予選でITFランキングポイントを取得

- W25本戦R32ではWTAランキングポイントは0
- **ただし、予選から本戦に勝ち上がった選手には**
- WTAランキングポイント1を付与（現行ルールのまま変更なし）

MW15本戦のジュニアリザーブスポットは3に減少
ITFリザーブスポットは廃止



いつから新ランキングが導入されるか

2019年8月5日から新しいATP,WTAランキングポイントが更新される

新ランキング導入後もITFランキングは2019年末まで継続加算される

2020年からITFポイントの付与は以下の大会のみに制限される

* 男子15～チャレンジャーの予選／女子15～25Hの予選

予選ドロージャー数と開催期間の変更

男女15,25大会の予選は24, 32, 48ドロージャーのいずれかを選択可
48Qと32Qは十分なコートがあること

48Qは日曜から日曜までの8日間で開催しなければならない
32Qは日曜又は月曜スタートを選択しITFの承認を得る



• ダブルスのアクセプトانس順の変更

- 男女15000ドル大会では、シングルス出場選手のみがダブルスへアクセプトされていたが、その条件は廃止される。
- ダブルスのアクセプトانسは全てのITF大会で同じになる。
- 単複いずれかの高ランキングの組み合わせでアクセプトされ、ATP/WTAランクチームがITFランクチームより優先される

8月5日からのATPとWTAのランキングプレイヤー

ATPランキングポイント保持者は、

シングルス約2000人　ダブルス約2300人

ATPメンバーシップを与えられるATPランキングプレイヤーは、

シングルストップ500人　ダブルストップ250人

WTAランキングプレイヤーは、

シングルス約1300人　ダブルス約1400人

WTAの年齢資格規則(AER)に関する事項

- 2019年8月5日以前にプレーしたW15大会の数およびワイルドカードの数をAERの制限に含めない
- 2019年8月5日以降、プレーするW15大会の数およびワイルドカードの数をAERに含める
- その数はWTAランキングポイントを取得した大会のみをカウントする



ウイズドローデッドライン(大会週の13日前)時の優先順

- 2019年8月以降、エントリーした複数大会から1つを選択される優先順は、以下の元の選択方法に戻る。
- 1、本戦へアクセプトされた大会
- 2、予選へアクセプトされた大会
- 2大会以上の本戦あるいは2大会以上の予選に受け入れられた場合は、自己申告の優先順に従って1大会を残し、その他の大会から削除される



フリーズドデッドライン時のオルタネイト大会優先順

*大会週前の金曜日ロンドン時間14:00

フリーズドデッドラインが過ぎた後、複数大会のオルタネイトリストに名前のあるプレイヤーは、自己申告の優先順に従って
1大会を残し、他の大会から削除される

削除された大会へオンサイトサインへ行くことは許されるが、優先順位は全てのエントリー選手の後になる

ITF本戦又は予選のアクセプタンスと ATPチャレンジャーのオルタネイト

- ITF大会開始前の金曜14:00までにITF大会からウイズドローするなら、ATPチャレンジャーに参加できる。
罰則、罰金は科されない
- 金曜日14:00の時点で、ITF大会にアクセプトされているプレイヤーは、チャレンジャーのオルタネイトリストから削除され、その週の他のITF大会又はチャレンジャー大会に出場することはできない

